



にも寄るでしょう」と。大島さんはそのアイデアを大いに喜ばれて、さっそく次の日、市の担当局長を阪大にある私の研究室に差し向けられました。そして部屋に入ってくるなり、「先生、殿がご乱心です。先生の口からあの計画を潰してください」っていうのです。私は何が問題なのか聞き返しました。すると、もう設計は済んでいるので、今から劇場に変更すると消防法とかに引っかかるし、お金もかかるというのです。結果、およそ文化的な魅力を感じない4つのビルが、今も大阪駅前には建っています。

**堀井** とかく日本ではハコモノ発想が優先して、ソフトのシステムづくりがなおざりにされます。

**山崎** 何かあっても良さそうなものです。中身のソフトを考えれば、いくらでも工夫のしようはあったのに、出来なかった。大島さんという歴代でも有能な市長ですら、リーダーシップを発揮できない組織が問題です。例えば、大阪大学が医学部を市内から引き上げて千里に移すと、跡地ができます。そんなことは前から分かっていたから、関経連が主導してその跡地に文化施設を作ろうというプランを立てたんです。それで我々を召集して研究しました。関経連が自腹で調査班を2班作って、アメリカとヨーロッパへ視察団を派遣したのです。

**堀井** それが「中之島舞台芸術センター構想」ですか。

**山崎** そうです。関経連だけでなく、佐治敬三さんとか、ダイキンの山田稔さんとか、当時の若手の経営者たちが大きな声を上げてくれました。本当にできそうな勢いでしたが、行政が乗ってこない。こういうものは財界だけでは無理なので、まだ実現していません。参考までに、兵庫県が西宮に作った兵庫県立芸術文化センターは、いま、もの凄い人気です。喜歌劇『メリー・ウィドウ（6月21日～7月6日）』の千秋楽を観劇したのですが、お客さんはほとんど西宮の人たちです。西宮市には40万人しか住んでいません。県の政策もよかったし、佐渡裕芸術監督が頑張っていることもあって、地元での人気はとても高い。なにしろタクシーの運転手が自発的にチラシを積んで配ってくれる。そういう雰囲気大阪にまったくない。向こうでできることが、なぜできないのかという気がします。また、尼崎市にピッコロシアター（兵庫県立尼崎青少年創造劇場・1978年創立）があります。当時その建設に参画していた私は、演劇を通して地域のリーダーとなる青年を育成する目的で、ここに演劇学校を作りました。ある日の卒業公演を兵庫県知事が観に来られ、いたく感激されました。そしてこのノウハウを教育に取り入れたいと仰しかった。

私は、さっそく公立高校のなかに演劇科をつくるプランを立て、知事に説明しました。高校の演劇科は、いわゆるタレント養成学校ではありません。相手の顔を見て、大きな声で、正しい日本語で話せるような立体的な国語教育を行うものです。将来、企業に入社し、上級の学校に進んだときに必ず役立つと申しました。すると知事は県の教育長を呼びつけ、当時建設中の高校のなかから宝塚北高校を選んで、「来年4月、ここに演劇科をつくるから左様心得よ」と指示されました。6月のことです。教育長はびっくりして、「学校を企画して設立するとなると、3年はかかります」と反対しましたが、知事は譲らない。そして翌年4月、ついにその高校に演劇科が発足しました。かつて大阪市からも公立高校に演劇科を作りたいとの諮問がありましたが、こちらはその話があったから（市立咲くやこの花高校に）実現するまでに十数年もかかりました。

**堀井** やろうと思えば兵庫県のようにすぐできるのですね。文化拡充には、やはり強いリーダーシップが必要です。文化を市場原理のまま放置すると「不易流行」のバランスが崩れてしまいますから。

**山崎** それから、企業のほうも少しずつ東京に集中し始めました。非常に残念なことですが、多くの企業の「大阪本社」は戸籍上の名ばかりになってしまい、中枢機能は東京に移っています。さらにもうひとつ付け加えるならば、マスコミです。NHKは例外で、大阪を可愛がってくれていますが、新聞社の大部分は大阪出身であるにもかかわらず、いまは東京です。大阪の文化部をどんどん縮小して東京配信でやるわけです。滑稽な話ですが、私が書いた原稿を取りにくるのは東京の文化部です。東京で一元取材をし、それを全国に流せば安くつきます。そういう非常に近視眼的な利益追求です。

## ソフトパワー

**堀井** 私も同じような経験をしていますから、身につまされるお話です。ところで同じ大阪駅前でも、現在、北側の貨物ヤード跡地の開発が進み出そうとしています。すでにロボットセンターを中心としたナレッジキャピタル構想が決まっていますが、私はもう少し文化の香り立つ施設がほしいと思っています。また、中之島に目を移せば、大阪大学の医学部跡地の開発も注目されています。今年10月、京阪中之島線の開通を機に中之島西部へのアクセスが良くなりますから、阪大跡地の利用は大きな話題になるでしょう。私どもが心配しているのは、昨今の大阪の財政危機で、あの貴重な土地が切り売りされはしないかということ。万一そうなって文化的な賑わいが失われては一大事ですから、かねてより構想半ばの「舞台芸術総合センター」と「近代美術館」のアイデアを早急に再検討する必要性を感じます。目下それらを単独で建設するだけの財源はどこにもありませんから、ホテルや事務所、商業施設などと合築させ、地下部分をホールにするとか、ワンフロアを美術館に充てる。そういう運動を起こせないかと思っています。

**山崎** それができれば何よりです。これは私の夢物語ですが、大阪を文化的・経済的に理想的なまちにする革命的な方法として、東京と同じように「都」にするという考え方です。大阪府のなかには政令指定都市が二つあって、人口の3分の1がそこに住んでいます。この際、府や市といわず大阪都にすれば、市長や知事、議員